



地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

てなむ

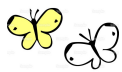
回覧

◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター
◆ 小林市キャリア教育支援センター

【小林市社会教育課】Tel22-7912
【小林商工会議所】Tel23-4121

昼夜の寒暖の差はありますが、日中のポカポカな陽気が春を感じさせてくれます。もうすぐ進級、卒業、そして旅立ちの季節。次のステップへ向かう子どもたちと、新たなことに挑戦しようとしているすべての人に、大きなエールを送ります。

さて、小林市の地域学校協働活動は、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指し、毎年、延べ2万5千人以上の方々に協力していただいています。4月以降も、さまざまな活動に取り組む子どもたちと地域の皆さんの生き生きした姿が見られることでしょう。



小・中学校では、活動のお手伝いをさせていただくボランティアを募集しています。詳しくは社会教育課が学校へお問い合わせください。

細野中 薬物乱用防止教室

- ① 薬物の種類と危険性 ② オーバードーズ(薬の過剰摂取) ③ 薬物依存・乱用とは ④ 薬物乱用に陥らないためには ⑤ お酒・たばこの害 ⑥ DVD(事例でみる薬物乱用)



山元慶子さん(学校薬剤師)

薬物の被害は青少年にも及んでおり、正しい知識を得て薬物から身を守るための授業は、市内すべての中学校で行われています。山元さんは、さまざまな画像を紹介しながら、薬物やお酒、たばこの害についてお話してくださいました。

【お礼の言葉】薬物が脳を溶かしてしまうと聞いて、怖さがわかりました。薬物は絶対に使いません。

給食感謝集会

1月24日からの1週間は、全国学校給食週間。それに合わせて、給食の意義や目的について考え、給食に携わる人たちに感謝する集会が小学校で、毎年開かれています。



何をするための
道具でしょう?



お礼のメッセージ

講師は斉藤先生(栄養教諭: 東方学校給食センター)。クイズを交えながら給食センターの仕事や、生産者の思いを紹介してくださいました。

【お礼の言葉】学校に来ると「今日の献立」が目に入り、楽しみです。しっかり食べて元気な体をつくれます。

栗須小

「たまりやうは、みんなできよくじのマナーを学ぶためである。」

【食に関するクイズ】
給食委員会が問題とスライドを作りました。



集会は「えいようのうた」の元気な合唱で始まりました。先生が野尻給食センターや生産者、配送に関わる人たちの仕事や思いを紹介した後、給食委員会の5・6年生が〇×クイズを出題しました。この後、児童全員が感謝の手紙を書き、給食に関わっている皆さんに届けます。クイズの一部、すべて〇です。

① 給食が始まったのは、家がまずしくて弁当をもってこれない子どもたちがたくさんいたから。② カルシウム不足にならないよう、学校の給食に牛乳をつけることが学校給食法で決まっている。③ 昔、ごはんはパンより高かったの、給食の主食がパンばかりだったことがある。

細野小 餅つき

5年生



「おいしくなれ、おいしくなれ」と言いながら丸めてよ!



おいしいです!

田植えと稲刈りをした5年生の餅つきです。2つのグループで、餅つきと丸める作業を交替で行いました。餅つきは初めての子どもたちが多かったものの、保護者と細野まちづくり協議会の皆さんに教えてもらい、上手にできました。

西小林小 保育士体験

5年生



こすもす科「わたしは保育士・私の夢」



箱の中身当て



射的

保育士の体験を通して自分の将来について考える授業です。31名の5年生が遊び道具やプレゼントを準備して、西小林保育園を訪問しました。

園児たちは、ボウリングや魚釣り、射的など6種類のゲームを、大喜びで体験していました。

【お礼の言葉】声かけをするのが難しかったけど、保育士の仕事のことがよくわかりました。

裏に続きます

紙屋小 もくもく体験



教室から体育館へ避難した後、火事や地震、水害などの話を聞きました。講師は「御池青少年自然の家」の指導員お2人。もくもく体験では、体に害のない煙が充満したテントを四つん這いで通り抜けました。

煙で何も見えない状況を体験して、子どもたちは火事や煙の怖さを改めて感じていました。

御池青少年自然の家では、事業所でも煙体験の出前講座を行っています。



小林小 キャリア教育交流会

5年生



若松さん(中央消防署)



坂元さん(金型製造:株 MEISEI)

職業を通して自分の未来を考えるこすもす科の授業です。5職種6名の皆さんに来ていただきました。子どもたちは15分ずつ4つのブースを回り、仕事の内容について聞き、質問をしていました。

中学1年生では、社会人の話を聞く「13歳のハローワーク」という授業があります。

写真以外の講師は…

【保育士】井手さん(中央保育所) 外園さん(こぼと保育園)
【畜産業】大平落さん(前沢畜産)
【助産師・保健師】黒木さん(小林市役所こども課)

読み聞かせ

東方中

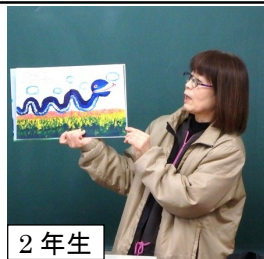


坂下実千代さん(小林市小・中学校「読みきかせ」連絡協議会会長)



東方中では、読み手を囲むようにして全校生徒が座ります。時には、保護者のご自分の仕事について語ってくださることもあります。今回の読み手は、長年読み聞かせの活動に携わっておられる坂下さん。2つの物語をストーリーテリング(語り)で紹介していただきました。

西小林中



2年生

ゆめいろ文庫の皆さんによる月に1度の読み聞かせです。この日は、3名の方が各学年で読み聞かせをしてくださいました。

小林市はすべての小中学校で読み聞かせを行っている全国的にも珍しい自治体です。小さい頃から物語に触れることで、聞く態度が養われ、中学生になっても真剣な表情で聞いています。東方中も西小林中も、子どもたちは最後まで姿勢を崩さず、熱心に耳を傾けていました。

三松小 手話教室

5年生



小林市では、小学3年生と5年生、中学3年生で手話を学びます。今回の講師は手話サークル「木の实会」の皆さん。3クラスに2人ずつ入り、2時間の授業をしました。前半は聞こえない人の生活・伝える方法・あいさつなどの簡単な手話、後半は指文字と自己紹介。終わりに、子どもたち全員が、手話で名前や好きなものを言えるようになりました。

小学3年生と昔の暮らし

野尻小



かるい(背負いかご)

社会科「市の様子と人々のくらしのうつりかわり」です。野尻小は「のじりこびあ」にある歴史民俗資料館を見学。昭和初期の民家を再現したコーナーで昔のくらしについて聞いた後、いろいろな道具を興味津々の様子で体験していました。

細野小



細野小は八幡原市民総合センター内の文化財展示室で、展示してある道具の説明を聞き、体験活動を行いました。両校の児童は、昔の人の知恵や工夫に感心しつつ、熱心に学んでいました。

【見学や体験をした道具】みの・わらじ・下駄・のこぎり・斧・あんどん・背負子(しよいこ)・黒電話・炭火アイロンなど
【協力】小林ガイドボランティア協会・小林市社会教育課